

学校関係者評価委員会

令和4年度第1回委員会 議事録

1. 日時および場所

日 時：令和4年10月17日(木)18:00～20:00

場 所：修成建設専門学校 129 教室

2. 出席者（順不同、敬称略）

委員

丸山 徹、土井 啓安、相賀 勝、藤田 晴樹、鈴木 邦彦、大槻 憲章、田中 文雄、大和 正、森本 紀三子

（計 9 名）

学校（オブザーバー）

山下裕貴（理事長）、堤下隆司（校長兼ガーデンデザイン学科科長）、見邨佳朗（副校長兼建築学科科長・修成教育研究所所長）、谷川博康（学生相談室室長）、鍵谷啓太（空間デザイン学科科長）、玉井香里（建築 CG デザイン学科科長）、釜友知與子（専科2級建築士科科長）、廣辻雅之（専科1級建築士科科長）、山本順也（住環境リノベーション学科副科長）、野瀬孝男（土木工学科・建設エンジニア学科科長）、亀井哲男（事務局長）（計 11 名）

（参加者合計 20 名）

3. 配布資料

資料 1-1：令和4年度第1回委員会 議事次第

資料 1-2：参加者出席名簿

資料 1-3：学校自己評価報告書採点用紙

資料 1-4：パンフレット類等（修成祭、外国人留学生採用フォーラム）

4. 議事次第

(1)開会挨拶

堤下校長の挨拶ならびに藤田委員長の開会挨拶に続いて、山下理事長より挨拶がなされた。

(2)議事内容説明

堤下校長より、議事内容の説明がなされた。

2021 年度 学校自己評価報告書について、各項目の記載責任者により説明がなされた。

(3)議案

(3-1)

堤下校長より、学校自己評価報告書採点用紙の記入について、および 2021 年度学校関係者評価

委員会報告書についての説明がなされた。

(3-2)

参加各委員より以下のような意見交換があった。

- 自己評価報告で説明のあった、Google Classroom を使用した学習支援について
学内では授業運営に使用しているほか、科目によっては各単元理解の自動評価をすることなども可能となっている。
- 各学科の学生定員の充足状況について。クラス担任科目の考えかたについて。
各学科の定員については概ね充足している。クラス担任は製図科目を原則として担当しているほか、
専門性の高い分野については分担して担当している。
- 修成教育研究所について
建設に関する資格について体系化を行い、的確な資格取得をサポートすることを行っている。
- 修成堀江ラボの活用状況について
コロナ禍のなか現在は使用頻度が減少している。昨年度は専科 2 級建築士科の製図授業で使用した。
- 専科 1 級建築士科での状況について
令和 3 年度と今年度の比較として学科試験が予想以上に難しかった。学科での合格率については全国平均よりも高い結果となっている。また次年度には本科を卒業した社会人の入学も予定されており、今後の専科の PR 材料になればと考えている。
- 建設 DX について
BIM 等については卒業生が活躍している。
建築 CG デザイン学科では BIM 教育を推進するために、新しい資格についての取組を行っている。施工管理分野では企業連携を通じた取組として、定点カメラの活用を行っている。
- 地域での活動について
コロナ禍で自粛していたイベント再開の流れを受けて、本年度より修成祭を復活させることとなった。
- 本科卒業後の就職について
求人や就職において、設計や施工管理など分野の変化もある。専科進学が増加傾向にあることなど、
進路決定の内容も変化してきている。

(4)その他

修成祭について、外国人留学生採用フォーラムについての告知と説明があった。

(5)次回開催日時等の決定

日 時：令和 5 年 2 月 14 日(火)18：00 から

場 所：修成建設専門学校 146 教室

内 容：1) 2021 年度学校関係者評価報告書について

2) その他

以上

(記録・文責：山本順也、鍵谷啓太)